

高岡市教育将来構想市民懇談会の開催結果について

第4回の高岡市教育将来構想検討会議（平成30年11月28日開催）において示していた、「今後10年を見据えた高岡市における小中学校の配置の基本的な方向について（骨子案）」の内容について市民への説明を行うとともに、広く意見をお受けするため、この12月及び1月に、各中学校区において高岡市教育将来構想市民懇談会を開催してきたところであり、その開催結果等は次のとおりです。

1 開催状況

【12月開催】

高岡西部中学校区	12月16日(日)	60名
国吉中学校区	12月18日(火)	50名
伏木中学校区	12月20日(木)	110名
五位中学校区	12月22日(土)	66名
中田中学校区	12月23日(日)	50名
高陵中学校区	12月25日(火)	64名

【1月開催】

戸出中学校区	1月11日(金)	55名
志貴野中学校区	1月15日(火)	20名
福岡中学校区	1月17日(木)	27名
南星中学校区	1月23日(水)	30名
芳野中学校区	1月28日(月)	29名
牧野中学校区	1月29日(火)	51名

2 市民からの意見等の状況

【全般にわたる意見の傾向等】

- (1) 小学校の統合、再編に対して特に反対する等の意見は見られず、賛成の立場から、早目に進めてほしいとする意見が大多数となりました。
- (2) 学校区域の拡大に伴う通学の事情に対する心配から、スクールバス等の通学手段を十分に検討、対応を望む旨の意見が、統廃合の方向が示された中学校区において示されました。
- (3) 小中連携・一貫教育の推進に関して期待する意見が多数寄せられているほか、関連しての質疑等として、次のとおりでした。

ア 義務教育学校と小中一貫教育との違いについての質疑

イ 義務教育学校の場合における「卒業」「入学」等の区切りの在り方はどうなるのか等、学校運営がどのように変化するのかの質疑

ウ 1中学校において複数の小学校のある校区、あるいは施設の一体化を予定されていない校区における小中連携・一貫教育の推進の見通し等に対する質疑

【各中学校区における意見の状況等】

別添のとおり